

社会・環境部会 2025 春の年会における全体会議メモ（案）

2025 年 3 月 13 日

山本 隆一

1. 開催日時
2025 年 3 月 13 日（木）12：10～12：55
2. 開催場所
A 会場（Zoom ルーム 1）
3. 参加者
土田部会長、佐田副部会長、他運営小委員会委員および部会員…計約 20 名
4. 概要
 - (1) 部会長挨拶
土田部会長より開会の挨拶があった。
 - (2) 第 1 部（審議事項）
 - ① 2025 年度運営小委員会名簿および運営体制について
資料 25 春 - 1 及び 2 に沿って山本より 2025 年度体制の紹介を行った。その中で、次年度においては今期で退任を希望した二人の委員を除いた構成になっていることが紹介された。これらについては特段のコメントは無く、承認された。
 - ② 2024 年度予算執行状況及び 2025 年度予算について
資料 25 春 - 3 に沿って高木委員より 2024 年度の予算実施状況の紹介と 2025 年度予算の紹介があった。これらについては若干の確認があり、その後承認された。
 - (3) 第 2 部（その他報告事項）
 - ① 部会表彰について
佐田表彰委員長より資料 25 春-4 に沿って報告した。今年度は優秀活動、奨励賞 1 件の計 2 件であり、このうち優秀活動賞については、廃棄物をテーマとした市民参加、とりわけ世代を超えた対話活動などへの貢献を評価して井内千穂氏に、奨励賞については、エネルギー政策への寄与をめざした研究や分析、情報発信で成果を出したことを評価して、渡辺凜氏に授与することとなった、とのこと。
以上の紹介の後、お二方に渡す表彰状の写真が紹介された後、本日参

加できなかった井内氏からのメッセージが代読された他、出席された渡辺氏からは口頭メッセージを頂いた。

② マスメディアとの関係構築について

風間委員より資料 25 春-5 に沿って、本年 1 月 10 日に開催したマスメディアとの交流会について報告があった。今回は「原子力サプライチェーンの未来～国内外の事例から見る課題と展望～」と題して Matrix K 代表の近藤寛子氏の講演を頂いた第一部と、「原子力サプライチェーンに関する課題認識と電機業界の取り組み」と題して日本電機工業会原子力部長の小澤隆氏の講演を頂いた第二部で構成し、マスコミ諸氏の要望を踏まえてハイブリッド方式で開催したことが紹介された。また、併せて 2025 年度の計画が簡単に紹介された。

③ ポジション・ステートメントについて

山本より資料 25 春-6 に沿って昨年 3 月末にバックエンド部会より提案された PS003 と PS011 に関わる審議状況を紹介した。特に PS003 については、PS 改革後最初に提案された改訂版の PS であったことから、審議と一部並行して審議の効率化等に関する工夫を行ったことを紹介した。

(4) 第 3 部(意見交換)

部会長から、運営小委員会の活性化に向けて、新しい運営小委員会委員の積極的な登用について提案があり、参加者の同意を得た。その中で、特に INSS より参加された部会員より委員の推薦について社内で検討する旨の意思表示があった。

以上